

2024年度環境保全研修会（第1回）

実施報告

2025年12月8日（月）に今年度の環境保全研修会第1回目を実施いたしました。

内容としては、2023年度から取り上げている「脱炭素（カーボンニュートラル）」をテーマとしてまず川崎市から「脱炭素に向けた取組事例の紹介」について、また川崎市内事業所である（株）JEPLANの「みんな参加型の循環型社会」と題して「ケミカルリサイクル」の現状やその取組みについて解説いただきました。また当会の会員企業である田中貴金属工業からは「カーボンニュートラルへ挑戦～貴金属触媒～水素発電について～」と題して事例紹介がありました。いずれの講義も受講者から大変高評価をいただきました。この研修会は、環境実務担当者として活躍している方向けに県内自治体また企業の取り組み事例の紹介など情報収集を図る機会として最適な研修会となっております。今回の講義内容については、Youtube動画でも提供いたしますので、是非ご活用ください。

日時：2025年12月8日（月）13:30～16:30

会場：波止場会館 5階 多目的ホール

受講者数：会場受講22名、動画視聴9名（会員及び非会員事業所）



【受講者からの感想・ご意見】*アンケート結果から抜粋しています。

- 地域の産業特性を生かして、行政としてごみ処理発電や事業者と協業した脱炭素の取り組みを進めていること、将来的には水素発電（？）の活用も視野に入れている点について非常に先進的だと感じた。
- 行政のゼロカーボン宣言による事業では「大手事業者」「中小事業者」「市民」「市」それぞれに対応した施策が肝だと思うが、それぞれ多岐にわたる策で取組んでいこうとしていることが理解出来た。
- OPETがここまでリサイクルできるとは驚きました。循環の定義を決めてから物を作るという基本的な考え方方が今の社会足らない事ととても共感しました。ニーズに向けたモノづくりが一般的だがそもそもその考え方方が今の社会にはズレがあることをあらためて感じる事ができました。
- 川崎市にあるケミカルプラントの見学を是非したいと思います。
- 田中貴金属グループでの脱炭素へのチャレンジ、同社のイメージが変わった。
- CO₂吸収の量感を提示いただいたが、まず第1に排出量削減であるべきを痛感（多量の吸収は現実的ではなく、排出量をコントロールすべき）した。弊事業所はCN取組みの意識が必ずしも高くなく、今後のためにも水素の活用のための情報入手を鋭意進めたいと思いました。